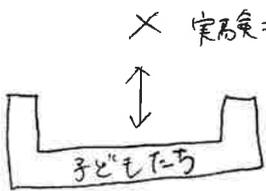


実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 けやき 組	5 月 30 日 (金)	富安 真由

● 実施計画

活動テーマ
雲と雨について知ろう (サイエンス - 天気 -)

活動テーマに関する 日頃の興味関心について
毎朝、朝の会で天気の確認を行っていることもあり、天気に関する興味関心は高い。導入として雲の写真を見て、形など様々な種類があることも知っておりよく意識して雲を見ている。

活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
10:30	<ul style="list-style-type: none"> 雲発生のメカニズムの図を見る。 実験の説明をする。 ① 電気ポットの湯気を透明袋の中に集め口を輪ゴムで閉じる。 ② 観察する。 ③ 中にたまえた水滴を袋から出す。 	<p><環境設定></p> <ul style="list-style-type: none"> 実験の前段階として、雲発生のメカニズムについてイラストを用いて具体的に伝える。 湯気は高温になる為、やけどのおそれがあるので実験場所から距離をとって見れるようにする。
10:40	<ul style="list-style-type: none"> 実験開始 → 保育者が電気ポットの湯気を袋に集める様子を見て、袋の中がどうなるか予想する。 → 袋を近くで見て中身の変化を観察し、変化について言語化する。 → なぜ水滴が発生したのか自分なりに考えてみる。 ・ 実験結果をもとに雲と雨の発生について知識を深める。 	<p>× 実験場所</p>  <p>・ 考えたことや感じたことを自由に発言できるように雰囲気をつくる。</p> <p><準備物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雲、雨、雪発生メカニズムの図 ・ 電気ポット ・ 透明な袋 ・ 黒画用紙 (湯気が見せやすいように)

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・ 湯気（水蒸気）を集めた袋を観察しながら思ったことを発言していく。疑問よりも事実を発言している（見がた）。 ・ 袋に（ほんのわず）水滴が付くというふうな些細な変化ではあったが、変化を確認することが出来た。「白い煙」に見えていたものが「水」に変わったことで「何故？」と探究心が芽生える思いもいた。 ・ 実験結果をもとに、改めて雲や雨の発生のメカニズムを伝えることで、理解が深まった。 	<p>〈子ども姿、声〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 湯気を見て、「白い」「煙みたい」「これが雲？」 ・ 「袋に入るのかな？」と思ったことを色々発言していた。 ・ 周囲の袋に水滴が付き変化が見られると、自分の袋にも変化を起さそうと袋をふったり息を吹きかけたり自分なりに試み姿があった。 ・ 雲、雨発生のメカニズムを理解するには難しいが、実験自体を特別感をもって楽しんでいて。 <p>〈保育者との関わり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「どうなるの？」「これは何？」と保育者に答えを求めようとする姿があった。一緒に考えられるような言葉を選んだ。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1はじめはホットの設定温度が180度になっており、結果が思うようにいかなかった。温度を高くすると袋の中は水滴が少なくて劇的な変化は見られなかった。事前に実験を試しておくなど保育者側の準備や知識が必要だと感じた。 ・ 安全性を考慮すると、子ども達は見てくれるだけの時間が多くなってしまうように感じた。 ・ 実験結果よりも、「実験する」ことに特別感を感じ、わくわくしている表情が見られていた。 	<p>(80度のお湯を保育室の中で使うことで、子どもたち(とては)特別感にたどり着く。リスクを考慮し、子どもたちの発見や学びを促すことを伝え合ってもらおう。実験とは違いますが、今できる限り(と)なります。早く済ませようからどうしていいかと。」「他にどんな方法があるかと。」「お風呂から再スタートできる楽しんでもいい。</p>

実施クラス				実施日		実施保育者名
5	歳児	けやき	組	8月	19日(火)	富安 真由

● 実施計画

活動テーマ	
野菜ってなに？ / 食べもの ~ 野菜 ~ 野菜はどこにできるの？ / 食べているのはどこ？	

活動テーマに関する 日頃の興味関心について
 食育等で野菜に触れる機会も多く、様々な種類の野菜を知っており興味関心が高い。
 野菜がどこにできるかや食べている部分に関しては、日頃考える機会がなかなか無い為、
 探究心を持っている。

活動スケジュール	環境設定・準備物
----------	----------

時間	内容	環境設定・準備物
1日目 10:00 2 10:15	野菜の名称を1人1つずつ答える。 野菜の特徴について考える。	[環境設定] ・調べたり、興味関心を探めたりできる本 ・図鑑やタブレットを活用できる環境を 用意する。 ・野菜カードを使用し、見方目と名称が 一致するようにする。
10:15 2 10:30	虫メガネを使って、実際に野菜を 観察してみる。(グループごと) ↓	[準備物] ・虫メガネ ・季節の野菜(きゅうり、ナス、トマト とうもろこし、オクラ、ピーマン、小松菜)
10:30 2 10:50	観察した野菜についてグループ内で 意見交換する。 ↓ 特徴をまとめて発表する。	・ホワイトボード ・野菜カード・図鑑・タブレット
2日目 10:00 2 10:30	前回の活動を振り返る。 ランダムに選んだ野菜について 「どこに育つか」「どの部分を食べている のか」について考え、答える。(クイズ形式)	[環境設定] ・意見を出し合えるよう、グループを設 ける。 [準備物] ・ホワイトボード ・野菜カード
10:30 2 11:00	↓ なぜ そのように考えたのかも発表。 まとめ	・図鑑 ・タブレット

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに観察をイテい、気が付いたことを自由に伝え合う。 ・1人1つずつ虫メガネを使用することでじっくりと観察を楽しむ。 ・何か疑問が生じた際には、すぐに答えを見ず、あきら程度の予想を立てる。 ・野菜の味以外にも色や形、感触などの手触れを確かめ、知識を深めていく。 ・観察からは正解がわからないことに慣れて、図鑑などを用いて答えを導きだしていく。 	<p>[子どもの姿・声]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「毛が生えている野菜と生えていない、里芋菜があるね」 「中はどうなっているのかな？」など観察(よてわかつた)ことや疑問に思ったことを活発に発言することができていた。 ・活動直後は給食で里芋菜を食べる際(よ)は、「ヒョーマンの種は食べない、けどトマトの種は食べるのと同じかな？」と新たな疑問が湧きあがっていた。 <p>[保育者との関わり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の発言に対し、否定することにはせず、「なぜそう考えたのか」などについて問いかけた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが子ども達にとって身近なものだと、興味関心が高く、意見交換がより活発になると感じた。 ・「里芋菜」はイラストや写真で見ることが多く、「生」で見ると馴染みが少なく、今回の観察で初めて知ることが多いようだった。 ・活動内だけでなく、その後の生活の中でも今回の学びが発見が生まれていることが見られている。 	<p>野菜について 子どもの考えや中身のしくみについて いろいろと探求できると良いですね。</p> <p>種(については、野菜などの部分)は、</p> <p>差を食へららぬ野菜は、よほど、</p> <p>子ども達(「お豆腐を共有して 林 夕那 知らへ(い)よけ」発表と子ども 興味を深めますね。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 けやき 組	12 月 9 日 (火)	富安真由

● 実施計画

活動テーマ		
アート～この絵どんな絵？～ 絵にはどんな種類があるの？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
生活の中でさまざまな絵に触れており、キャラクターの絵や写実的な絵を見比べて「ちがうね」「おもしろい」と気づいている。絵の雰囲気や描き方の違いに自然と目を向ける姿がある。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00～10:10	美術館ごっこについて導入する 美術館はどんなところか。 何が飾ってあるのか。など子どもと考える。 実際に行ったことのある児に話してもらったりテレビで見た事を伝え合う	【環境設定】 ・子どもたちが見やすい位置に絵画の種類やコラージュ作品の写真を掲示し、視覚的な観察にできるようにする。 【準備物】 世界の名画印刷物
10:10～10:30	保育室の壁に貼られた名画を鑑賞する。 個人で干渉したり、友だちと感想を言いながら鑑賞を楽しんだりする	
10:30～10:40	鑑賞した絵の感想や気づきを伝え合い、個々の発想を共感したり質問をする。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>保育室を美術館に見立て美術館ごっこを行った。保育室に貼られた世界の名画を鑑賞し、友だちと感想を伝え合う姿があった。子どもならではの視点をに着目し全体で共有すると興味が広がった。</p>	<p>【子どもの姿・声】 ・美術館での過ごし方として子どもたちから「静かに観るんだよ」と、発言があった。静かに美術鑑賞をすることで美術館の雰囲気を楽しむ姿があった。モナリザを「優しそうな顔だね」、フェルメールの耳飾りの少女を「可愛い」、ゲルニカの絵画を「なんかかっこいい犬みたい煮見える」等たくさんの感想が聞かれた。</p> <p>【保育者との関わり】 子どもたちの感想に共感することで自信を持って伝える姿が見られた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>絵画鑑賞は子どもたちにとって難しいと思っていたが自分なりに感じた事を言葉で表現する事ができ子供の視点ならではの意見も出て面白いと感じた。幼児期から様々な芸術作品に触れる事は表現力の引き出しを広げる為に良いと感じた。</p>	<p>世界の絵画には様々な種類があり子どもたちに感受性を育むためには固定観念に捉われずに提示していくと良いと思います。抽象画などから感じた事を自分なりに表現につなげたりする事ができるとたのしいですね。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 けやき 組	/ 月 21日 (水)	富安 真由

● 実施計画

/ 月 24日 (木)

活動テーマ

おかね ~ おかねってなんた"ろう ~

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

ごっこ遊びなどで「00円です」「00円のおコリです」など お金(架空)のやりとりを楽しんでいることもあり、興味関心が非常に高い。お正月に「お年玉」の話題などもあがっていた。

活動スケジュール

環境設定・準備物

時間	内容	環境設定・準備物
<p><1日目></p> <p>10:30 ~ 10:50</p>	<p>① お金の種類や用途について考える。</p> <p>↳ 考えたことを発表する。</p> <p>↳ 玩具のお金を観察し気づいたことや気になることを伝え合う。</p>	<p><1日目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード ・玩具のお金
<p><2日目></p> <p>14:00 ~ 14:10 ~ 14:45</p>	<p>② お買い物ごっこの準備、説明。</p> <p>↳ 保育者の説明を聞く。</p> <p>↳ 玩具のお金を分配する。</p> <p>③ お買い物ごっこ実施。</p> <p>↳ 欲しいもの、買えるものについて考える。</p> <p>↳ カゴの商品を保育者と一斉に確認、計算し支払う。</p> <p>↳ 買ったものについて友達と話す。</p>	<p><2日目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品(玩具) ・植木 ・買い物カゴ ・ポシエット(お金を入れる) ・玩具のお金 ・レジ台、トレー <p>実際のショッピングのように会計時は列に並ぶ”</p>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>○ お金の種類や用途について考え伝え合う。 印字されている肖像画や模様に興味を持ち何かが描かれているのか自分なりに探究する。</p> <p>○ お金の用途について考える中で、自分達の生活に密接に関わっていることやお金がないと手に入らないものや経験・体験があることに気が。</p> <p>○ 買いものごっこを通して、欲しいものと必要なものの区別をする。お金の価値を知り、大切さについて考えをきっかけとする。</p> <p>○ 反対にお金では買えないものやお金がなくても手に入るものについても考え意見交換してみる。</p>	<p>[子どもの姿、声]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙幣や硬貨など「見たことある」「持っている」と興味を示していた。印字されている絵について「おんの花かな?」「この人誰?」など探究心が広がっていた。 ・ 買いものごっこでは、数字の大きさが安い、高いを見分け、自分の買えるものを見極める姿があった。 <p>[保育者との関わり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「先生レジの人や、てね」と自分達でハマかなえな役を保育者にお願していた。 ・ 保育者が店員に扮すると、子ども達も客になりおごごこを喜び楽しんでいました。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>キャッシュレスの時代ではあるが思ったよりもお金についての知識があるようだった。"お金の大切さ"について活動の中でそれぞれが感じていたようで良かったが、お金だけが大切というイメージにはならないよう伝えていた。ごっこ遊びの中で、会計時にお金が足りない思っていたが、うちの思がお金をあげようとしていて子どもならではの視点だと感じた。本物のお金の場合、そういったことは安易にはできないこともしつこく伝えていきたい。</p>	<p>家庭での経験の中でお金のやり取りを見ていたり、実際に釣金かしてこりしている子で、お買物ごっこに興味を持って取り組むことができていました。カードなども知っている村々子でしてなのでカードの端合のお金の流れについても探究してみると良いですね。</p>